

**コース7 約6キロ 4~5時間**

武藏新城駅

250m

新城公園

200m

江川せせらぎ遊歩道
(全長2,400m)

200m

橋公園

400m

神庭特別緑地保全地区(蟹ヶ谷古墳群)

700m

井田こもれび公園

900m

井田山緑地

500m

井田公園

1,400m

元住吉駅

WC

江川・井田山の散歩道

せせらぎと緑の憩いのみち

地域に親しまれている江川せせらぎ遊歩道を通り、多摩川の崖線上に残る高台の緑地をめぐる散歩道です。賑やかなまちなかの水辺や、自然豊かな雑木林の緑は、人々と生き物の憩いの場となっています。



(↑神庭特別緑地保全地区からの眺め)

江川せせらぎ遊歩道

江川せせらぎ遊歩道は、下水道整備により河川としての役割を終えた江川の跡地を利用し、平成15年に整備されました。

遊歩道は、「湧水の小径」「桜のプロムナード」などの8つのゾーンに分かれており、せせらぎには、等々力水処理センターで下水を高度に処理した水を有効利用するなど、水や緑にあふれた憩いの場となっています。



橘公園

- 所在地／高津区子母口565
- 行き方／市バス「子母口小学校入口」下車
- 問合せ／高津区役所道路公園センター 833-1221

大きな広場や複合遊具、人工の小川などがあり、いつも多くの利用者で賑わっています。



神庭特別緑地保全地区（蟹ヶ谷古墳群）

多摩川崖線の貴重な樹林が残された緑地で、市民ボランティアの里山活動により美しい雑木林が守られています。急な階段をのぼっていくと、斜面の上は木々に囲まれた日当たりの良い広場となっており、蟹ヶ谷古墳群があります。

蟹ヶ谷古墳群は6~7世紀頃の古墳群で、そのうちの1基は市内で現存する唯一の前方後円墳であることがわかりました。川崎市では、3大学と連携して蟹ヶ谷古墳群の調査研究を行い、川崎市の古代史の解明に取り組んでいます。



(↑蟹ヶ谷古墳群第1号墳 川崎市文化財課提供)

井田山緑地（井田山特別緑地保全地区）

- 所在地／中原区井田2丁目32
- 行き方／市バス「中原老人福祉センター」下車

地域の保全運動により開発から守られた緑地で、低地部の池と小川は水生生物の生息空間となっています。中原区の市民健康の森でもあり、里山の保全活動なども活発に行なわれています。高台の上からは市街地を望むこともできます。



特別緑地保全地区

- 神庭特別緑地保全地区 平成14年5月指定
- 井田伊勢台特別緑地保全地区 平成13年3月指定
- 井田山特別緑地保全地区 平成9年12月指定